



寒河江について学びを深める「お宝発見プロジェクト」

本校で取り組んでいる未来の担い手育成プログラム、「お宝発見プロジェクト」（1年生）の授業で、寒河江市と深い関わりを持つ大江氏について学習しました。市教育委員会 保科文俊氏、澄江寺住職 佐藤啓文氏を講師としてお迎えし、お話をお聞きしました。「寒河江を400年間にわたり治めた大江氏」と題して、私たちがよく知っている鎌倉幕府や源頼朝、承久の乱など、教科書の歴史の内容と合わせて説明してくださったり、寒河江市の地図と重ねながら場所を確認し、関わりのある市内の寺院や史跡を紹介したりしてくださいました。小学校の時に調べたこともあり詳しい人もいましたが、お二人の話聞き、さらに調べてみようという意欲を持ったようです。今後は、9月のウォークラリーで関係場所を訪問し理解を深めていく予定です。最後に、次のような質問も出されました。一部を紹介します。

○大江広元公は何歳まで生きたのか。

77歳で亡くなった。その際に鎌倉の御家人が大勢集まったといわれている。

○大江広元の領地はどれくらいあったのか。

熊本にもあったということで、九州まで領地を持っていたといわれている。

○大江家の家紋の由来は何か。

一文字三星といわれ、オリオン座のまっすぐ並んでいる3つの星に由来している。

保科さん、佐藤さん、貴重なお話をしていただき、ありがとうございました。



寒河江との関わりについて真剣に耳を傾け、たくさんの質問がでました。

お話を伺って、寒河江と大江氏には深い関わりがあることがわかりました。たくさんの戦いがあったにもかかわらず、400年にわたり寒河江を治め続けた大江氏には驚きました。私は小学校6年生の時の総合の授業で寒河江と大江氏について調べるために澄江寺に行きました。そこには、13代知広のお墓がありました。現在までずっとそのまま残っているものはほぼないとお聞きしてすごく貴重なものなのだと感じました。澄江寺にも一文字三星があり見せてもらいました。由来がオリオン座だと初めて知りました。寒河江が400年間治められたのは最上川と寒河江川に囲まれていて、敵が攻めることができないからだとかわかって場所にも恵まれていたんだなと思いました。寒河江と大江氏についてお話を伺って、このことが寒河江のPRになればうれしいなと思いました。

小野舞衣子

寒河江を400年間治めていた大江氏のことをあまり知らなかったもので、初めて聞くことが多くておもしろかったです。大江広元は鎌倉幕府の基礎を固めた人物で、幕府にとって重要な人だったんだと思いました。広元が亡くなった時にはたくさんの人が集まり、悲しんでいたと知りました。そんな人物が寒河江の荘の地頭になっていたことがすごいと思いました。

その後も親広やその孫などが継ぎ400年も治めていたことを知り、誇らしい気持ちになりました。また、大江氏の家紋「一文字三ツ星」の由来や、墓石、寺などについてよく知ることができました。家紋は、オリオン座から由来していることを知りびっくりしました。他にも気になることや疑問に思ったことを調べてみたいです。

小林 千華